

## ■小児科

### 1. 概要と2021年度目標及び方針

当小児科は、千葉県南部の基幹小児科として、24時間当直体制で小児の高度・救急医療を行なっている。小児病棟は24病床で稼働している。重症管理室を併設し、小児科全般の疾患に対応するとともに、外科領域の入院患児の全身管理にも携わっている。日本小児科学会、ならびに日本小児神経学会の研修認定施設である。

#### ① 小児科診療の充実

##### 1. 患者中心の診療

予約アプリ導入することで、現在それぞれ週に1日のみの予防接種・シナジス外来を拡大し、健診など当院受診日に合わせて予防接種が受けられる体制への改変を前進させる。救急外来での急性期対応のみならず疾患・事故予防のための外来診療への移行・連携を強化する。

##### 2. With コロナ時代に対応できる柔軟性を持った診療科と診療体制の構築

新興感染症の流行に伴い、前例のない判断を迫られ、柔軟な対応とより綿密なコミュニケーションが求められる中、体制を再編する。また今回のコロナ禍を奇貨としてオンライン診療の推進をより進める。新型コロナウイルス感染症について成人と小児ではリスクや求められる生活様式が異なるため、「こどもの代弁者」としての情報提供を続ける。

#### ② 在宅移行支援／従来型病棟としてのレスパイト受け入れとともに、児童発達支援センターを新設することで療育面との連携を行う。医療安全に対する取り組み強化

高リスク児の認識を共有するため、スタッフによる勉強会ならびに症例ごとのカンファランスを継続する。小児科病棟において急変時シミュレーションを行い、医療安全体制の見直しを、定期的に行う。シミュレーションを通じて、他職種間の連携を強化する。

#### ③ 小児科臨床教育の充実

日本小児科学会、日本小児科神経学会認定臨床研修病院として若手研修医の指導を充実させる。特に屋根瓦式での若手スタッフ、シニア、ジュニアの教育体制を確立する。院外講師による講演会を開催し教育の充実に努める。

#### ④ 小児臨床研究の充実

初期・後期研修医による学会発表、論文発表を励行する。

#### ⑤ 地域・行政との連携。地域・行政との連携により、院内診療のみならず、在宅医療・検診・健康講話などを通し、地域の保健・療育・教育活動に積極的に参加していく。

#### ⑥ 昭和大学病院、静岡県立こども病院、神奈川県立こども医療センターなどの連携施設に研修医を派遣

し、より充実した研修を行う。

- ⑦ 子育て中の医師へのサポート。子育て支援のため、男女問わず医師の育児休業の取得についての支援、診療・当直体制をフレキシブルに変更する。
- ⑧ 発達障害や育児困難な症例の増加に対応可能となるように、外来診療を行う。
- ⑨ 南房総地域の開業医とより密に連絡を取り合い、紹介・逆紹介をしやすい関係を構築する。

## 2. 2020年度評価

### ① 小児科診療の充実

現在、新体制移行に向けての業務課主導のタスクフォース内で、予約アプリの選定と移行に伴うシミュレーションを複数回実施した。新型コロナウイルスワクチンの集団接種業務が終了したら実践への最終段階に入る予定。

### ② 医療安全に対する取り組み強化

小児科病棟内で、急変時シミュレーションを複数回（3回以上）行った。後期研修医の手技についてはprevidedgeを導入し、力量に応じた権限を付与している。

### ③ 小児科臨床教育の充実

臨床教育の場として以下のカンファレンス、勉強会を行った。

毎日、朝夕の病棟カンファレンス／週1回の臨床カンファレンス、勉強会  
院外講師によるオンライン講演会を実施し活発な議論を行った。

### ④ 小児臨床研究の充実

臨床研究として、初期・後期研修医、スタッフ医師による学会発表、論文発表（詳細は業績集を参照）を行った。特に小児科学会千葉県地方会には毎回複数研究を発表して県内での意見交換を活発に行った。

### ⑤ 地域・行政との連携。地域・行政との連携により、院内診療のみならず、在宅医療・検診・健康講話などを通し、地域の保健・療育・教育活動に積極的に参加した。

保健所にて一般健診の委託

学校保健・健診の委託

ふれあいセンターにて発達相談の委託

### ⑥ 昭和大学病院、静岡県立こども病院、神奈川県立こども医療センターなどの連携施設に研修医を派遣、より充実した研修。

安房地域医療センター、亀田ファミリークリニックとの連携。安房地域医療センターの小児科診療（外来）を充実。亀田ファミリークリニックとの連携を強化。

安房地域医療センターの金曜日の小児科午前外来診療を継続した。外来患者の紹介など亀田総合病院との連携もスムーズに行われた。入院患者の転院も数名ではあるが、連携のもと、スムーズに行われた。

⑦ 女性医師へのサポート。子育て支援のため、診療・当直体制をフレキシブルに変更

### 3. スタッフ

(常勤9名、後期研修医 2名 非常勤 3名)

#### 非常勤医師

小児神経1名、小児腎臓1名、小児アレルギー1名

ジュニアレジデント 2名 配属 (1か月間 ローテーション)

家庭医養成コースシニア 1名 配属 (2~3ヶ月間 ローテーション)

### 4. 診療内容 (2020.4.1-)

1)外来診療：亀田クリニック (予約制)

	月	火	水	木	金	土
午前一般外来	3診	3診	3診	3診	3診	3診
午前専門外来	発達外来	発達初診外来	発達外来 神経外来	アレルギー 発達外来	神経外来	神経外来 発達外来
午後専門外来	NICU 外来 発達外来	内分泌外来 血液外来	心臓外来 腎臓外来 神経外来	発達外来 NICU 外来 喘息外来	発達外来	神経外来 発達外来
特殊外来	1歳検診	1ヶ月検診	予防接種		乳児検診	シナジス外来

外来患者数：約100名/日

夜間救急患者：平均10名、流行期30名

安房地域医療センター (予約制)

金曜日 (午前・午後) 岩間

#### 2)入院診療

急性感染症などの一般小児科疾患をはじめ、小児科各専門領域の慢性疾患など多数。

一般小児科で必須の疾患のほとんどを診療している。

人工呼吸器管理などの集中治療を要する重症患者は年間約10名程度。

看護師も受持ち制をとり、患者・家族と密なコミュニケーションを図り、継続性のある看護を目指している。

### 5. 学術関係(2020.4.-2021.3.)

学術関係（2020年4月-2021年3月）

1) 原著論文

村上楽, 伊東宏明. RSウイルス感染症流行疫学とパリビズマブ投与期間決定への課題. 日本小児科学会雑誌  
2021 ; 125 : 24-31.

2) 学会、研究会発表

・学会

発表者名：上野健

演題名：いすみ市におけるワクチン公費助成前（2008-2010年）、移行期（2011-2014年）、定期接種後  
（2015-2019年）の水痘流行疫学

発表学会名：第217回日本小児科学会千葉地方会

開催月日：2020年9月13日 WEB（Teams）開催

発表者名：飯島文香

演題名：千葉県のRSウイルス感染症地域別流行パターンの変遷を考慮したパリビズマブ投与期間の決定

発表学会名：第217回日本小児科学会千葉地方会

開催月日：2020年9月13日 WEB（Teams）開催

発表者名：村上楽

演題名：集団除菌が有効であったPanton-Valentine leukocidin産生メチシリン耐性黄色ブドウ球菌  
（PVL-MRSA）による繰り返す皮下膿瘍の家庭内クラスター例

発表学会名：第218回日本小児科学会千葉地方会

開催月日：2021年2月21日 WEB（Teams）開催

発表者名：美里周吾

演題名：Withコロナ時代でのインフルエンザ集団予防接種で見えてきたもの

発表学会名：第218回日本小児科学会千葉地方会

開催月日：2021年2月21日 WEB（Teams）開催

発表者名：濱田結

演題名：ソラマメの喫食歴から診断に至ったグルコース-6-リン酸脱水素酵素（G6PD）異常症の1例

発表学会名：第218回日本小児科学会千葉地方会

開催月日：2021年2月21日 WEB（Teams）開催

発表者名：森川敬太

演題名：当科における成長ホルモン分泌刺激試験プロトコールの妥当性評価

発表学会名：第218回日本小児科学会千葉地方会

開催月日：2021年2月21日 WEB (Teams) 開催

発表者名：濱田結

演題名：食物経口負荷試験 (OFC) の実施方法変更に伴う保護者・医療者へのアンケート調査

発表学会名：第219回日本小児科学会千葉地方会

開催月日：2021年6月13日 WEB (Teams) +千葉大学ハイブリッド開催

・研究会

河野悠介 指定討論と総合討論 (コメンテーター) ネットワーク作りのための第4回千葉県摂食障害研究会

2021年2月21日 大塚製薬など

湯浅正太 小児のてんかん Web Seminar in Chiba～小児てんかんとけいれんの最前線～ Session I

2021年3月18日 第一三共

・講演

湯浅正太 障がい児・きょうだい支援について、北海道の内科の先生方に講演された

・その他 (書籍執筆など)

村上楽, 伊東宏明. 四種混合ワクチン (DPT-IPV), 三種混合ワクチン (DPT), 不活化ポリオワクチン (IPV).

小児科診療 診断と治療社 2020年第83巻11号pp.1581-1586.

岩間真弓, 伊東宏明. こども相談室 ロタウイルス感染症とはどういう病気?. ミレニアム 千葉県医師会

2020年12月号第75号p.6.

岩間真弓, 伊東宏明. かぜとまちがしやすい個々の病気 熱中症. 小児看護 へるす出版 2021 ; 44 : 95-98.

(2021年1月 第44巻第1号)

湯浅正太 (著), 石井聖岳 (イラスト). みんなとおなじくできないよ 障がいのあるおとうととボクのはな

し。日本図書センター 2021年2月。

## 6. 教育内容

主治医に若手スタッフないし後期・初期研修医でチームを組み入院診療に当たっている。初期研修医、家庭医も常時0・2名配属されチーム医療の一翼を担っている。また外来診療、救急診療にも後期研修1年目の夏から一人立ちをすべく、臨床教育を行っている。以下に具体的な内容を提示する。

- ・ 毎日、朝夕の病棟カンファレンス
- ・ 週1回の部長回診
- ・ 週1回の臨床カンファレンス、輪読会
- ・ 月に1回の放射線科カンファレンス、リハビリテーション科カンファレンス

## 7. その他

- ・ 保健所にて予防接種業務の委託
  - ・ 保健所にて一般健診・発達健診の委託
  - ・ 学校保健・健診の委託
  - ・ 附属看護専門学校・助産婦学校の講義
  - ・ 小児の健康についての市民フォーラム
- などを、定期的に行なった。

文責：伊東宏明